

## キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

### キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

2単位(必修)1年(後期)

吉田 文美・准教授/人間文化学科, 平井 松午・教授/社会創生学科

**【授業目的】** 将来の社会的・職業的自立を目指し、キャリアプラン、ライフプランに対する基本的な視点・展望を持つために必要な素養と社会的能力を養う。キャリア体験講座や適性把握演習を通じて自らの立ち位置ならびに適性を把握するとともに、学部・学科の教育理念を理解し基礎学力を養成するための準備を行う。

**【授業概要】** 前半のキャリアプランニング部分は、学部合同で講義される。キャリア体験講座を通じて学生個々に自らの職業観について考える。必要に応じてレポートが課せられる。次いで適性検査にもとづき、自らの適性を性格、言語、係数、総合の観点から診断・把握する。それらをもとに自らキャリアプランを作成する。さらにコンピテンシー(企業等で要求される能力・行動特性)について学ぶとともに、各自が必要なコンピテンシー項目を選定し、Web版キャリア学習ポートフォリオに登録する。後半部分は、小クラスに分かれ、ゼミナール形式で遂行される。将来の自立のために大学での学業面での充実を目指し、学科の理念を理解し、自らの社会力・基礎学力を養成するために何をすべきかを学ぶ。

**【キーワード】** [キーワード]

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** [関連科目]

**【履修上の注意】** 後半の授業では、加瀬次男『コミュニケーションのための日本語・音声表現』学文社を使用予定である。授業計画の後半部は、このテキストを使用する場合の予定であり、計画に示された授業進捗は一応の目安である。テキストを変更した場合は、授業中に改めて後半部の計画を伝える。テキストの種類に関わらず、授業前にあらかじめ指定した箇所を読んでくることが求められる。

**【到達目標】** 誰もが将来、社会的・職業的自立をしなければならないことを認識し、そのための行動を始める。

**【授業計画】**

1. キャリアプラン体験講座(1. 考え方)
2. キャリアプラン体験講座(2. 事例紹介)
3. 適性把握演習(性格・言語)
4. 適性把握演習(計数・総合)
5. 自らのキャリアプラン・ライフプランを考える。
6. 各業種・職種のコンピテンシー

7. Web版ポートフォリオの設定

8. テキスト講読/第1章 おしゃべりなことば

9. テキスト講読・演習/第2章 話して伝える 1-4

10. テキスト講読・演習/第2章 話して伝える 5-7

11. テキスト講読・演習/第3章 ビジネス・コミュニケーション 1-3

12. テキスト講読・演習/第3章 ビジネス・コミュニケーション 4-5

13. テキスト講読・演習/第4章 読んで伝える 1-5

14. テキスト講読・演習/第4章 読んで伝える 6-9

15. テキスト講読・演習/第5章 朗読を楽しむ

16. レポート提出

**【再試験】** 行わない。

**【教科書】** 加瀬次男『コミュニケーションのための日本語・音声表現』学文社(2001年)2940円を使用予定。

**【参考書】** [参考資料]

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218537>

**【連絡先】**

⇒ 吉田 (1N10, 088-656-7124, ayami@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 11:55-12:50)

## キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

2 units (compulsory) 1st-year(2nd semester)

Ayami Yoshida · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES, Shogo Hirai · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

**Target)** 将来の社会的・職業的自立を目指し、キャリアプラン、ライフプランに対する基本的な視点・展望を持つために必要な素養と社会的能力を養う。キャリア体験講座や適性把握演習を通じて自らの立ち位置ならびに適性を把握するとともに、学部・学科の教育理念を理解し基礎学力を養成するための準備を行う。

**Outline)** 前半のキャリアプランニング部分は、学部合同で講義される。キャリア体験講座を通じて学生個々に自らの職業観について考える。必要に応じてレポートが課せられる。次いで適性検査にもとづき、自らの適性を性格、言語、係数、総合の観点から診断・把握する。それらをもとに自らキャリアプランを作成する。さらにコンピテンシー(企業等で要求される能力・行動特性)について学ぶとともに、各自が必要なコンピテンシー項目を選定し、Web版キャリア学習ポートフォリオに登録する。後半部分は、小クラスに分かれ、ゼミナール形式で遂行される。将来の自立のために大学での学業面での充実を目指し、学科の理念を理解し、自らの社会力・基礎学力を養成するために何をすべきかを学ぶ。

**Keyword)** [キーワード]

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Notice)** 後半の授業では、加瀬次男『コミュニケーションのための日本語・音声表現』学文社を使用予定である。授業計画の後半部は、このテキストを使用する場合の予定であり、計画に示された授業進捗は一応の目安である。テキストを変更した場合は、授業中に改めて後半部の計画を伝える。テキストの種類に関わらず、授業前にあらかじめ指定した箇所を読んでくることが求められる。

**Goal)** 誰もが将来、社会的・職業的自立をしなければならないことを認識し、そのための行動を始める。

**Schedule)**

1. キャリアプラン体験講座(1. 考え方)
2. キャリアプラン体験講座(2. 事例紹介)
3. 適性把握演習(性格・言語)
4. 適性把握演習(計数・総合)
5. 自らのキャリアプラン・ライフプランを考える。
6. 各業種・職種のコピテンシー

7. Web版ポートフォリオの設定

8. テキスト講読/第1章 おしゃべりなことば

9. テキスト講読・演習/第2章 話して伝える 1-4

10. テキスト講読・演習/第2章 話して伝える 5-7

11. テキスト講読・演習/第3章 ビジネス・コミュニケーション 1-3

12. テキスト講読・演習/第3章 ビジネス・コミュニケーション 4-5

13. テキスト講読・演習/第4章 読んで伝える 1-5

14. テキスト講読・演習/第4章 読んで伝える 6-9

15. テキスト講読・演習/第5章 朗読を楽しむ

16. レポート提出

**Re-evaluation)** 行わない。

**Textbook)** 加瀬次男『コミュニケーションのための日本語・音声表現』学文社(2001年)2940円を使用予定。

**Reference)** [参考資料]

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218537>

**Contact)**

⇒ Yoshida (1N10, +81-88-656-7124, ayami@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL  
(Office Hour: Tuesday 11:55-12:50)